

2020年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2019年7月26日

上場会社名 山洋電気株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6516 URL https://www.sanyodenki.co.jp/
 代表者（役職名） 代表取締役兼社長（氏名） 山本茂生
 問合せ先責任者（役職名） 常務執行役員管理部門担当（氏名） 北村恵一（TEL）(03)5927-1020
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利 益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	17,052	△23.8	40	△98.4	△30	—	△168	—	△169	—	△957	—
2019年3月期第1四半期	22,382	9.3	2,602	45.1	2,918	53.2	2,161	46.7	2,161	46.7	2,324	△16.7
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2020年3月期第1四半期	△13.97		—									
2019年3月期第1四半期	178.55		—									

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者帰属 持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	105,983	63,207	63,200	59.6	5,221.11
2019年3月期	106,304	64,832	64,824	61.0	5,355.20

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	55.00	—	60.00	115.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	36,500	△17.9	700	△85.1	700	△86.3	500	△86.8	41.31
通期	81,400	△3.9	4,800	△27.2	4,800	△30.3	3,400	△31.8	280.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) , 除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	12,972,187株	2019年3月期	12,972,187株
2020年3月期1Q	867,386株	2019年3月期	867,181株
2020年3月期1Q	12,104,845株	2019年3月期1Q	12,105,339株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明, その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は, 当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており, 実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧州の一部において景況感に持ち直しの兆しはあるものの、世界的な貿易量の減少や、米中貿易摩擦の長期化などの要因により、期間を通じて停滞しました。

そのような中で、当社グループの主要な販売市場である工作機械・ロボット・半導体製造装置などの業界において需要が大幅に減少しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における連結売上収益は17,052百万円（前年同期比23.8%減）となり、連結営業利益は40百万円（前年同期比98.4%減）、連結税引前四半期損失は30百万円（前年同期は連結税引前四半期利益2,918百万円）、親会社の所有者に帰属する四半期損失は169百万円（前年同期は親会社の所有者に帰属する四半期利益2,161百万円）となりました。

受注高は16,406百万円（前年同期比26.1%減）、受注残高は14,955百万円（前年同期比33.1%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

①日本

日本には、当社および連結子会社の山洋工業株式会社、山洋電気テクノサービス株式会社があります。セグメント売上収益は17,466百万円（前年同期比22.7%減）となり、セグメント損失は387百万円（前年同期はセグメント利益1,850百万円）となりました。

②北米

北米には、連結子会社のSANYO DENKI AMERICA, INC.があります。セグメント売上収益は1,856百万円（前年同期比32.9%減）となり、セグメント損失は39百万円（前年同期はセグメント利益189百万円）となりました。

③ヨーロッパ

ヨーロッパには、連結子会社のSANYO DENKI EUROPE S.A.およびSANYO DENKI GERMANY GmbHがあります。セグメント売上収益は1,243百万円（前年同期比7.9%減）となり、セグメント利益は88百万円（前年同期比16.2%減）となりました。

④東アジア

東アジアには、連結子会社の山洋電気（上海）貿易有限公司、山洋電気（香港）有限公司、台湾山洋電気股份有限公司、SANYO DENKI KOREA CO., LTD.、上海山洋電気技術有限公司、山洋電気貿易（深圳）有限公司、中山市山洋電気有限公司、山洋電気精密機器維修（深圳）有限公司および山洋電気（天津）貿易有限公司があります。セグメント売上収益は2,192百万円（前年同期比40.0%減）となり、セグメント利益は38百万円（前年同期比85.0%減）となりました。

⑤東南アジア

東南アジアには、連結子会社のSANYO DENKI PHILIPPINES, INC.、SANYO DENKI SINGAPORE PTE. LTD.、SANYO DENKI INDIA PRIVATE LIMITEDおよびSANYO DENKI (THAILAND) CO., LTD.があります。セグメント売上収益は4,790百万円（前年同期比22.5%減）となり、セグメント利益は92百万円（前年同期比67.8%減）となりました。

また、事業部門別の営業概況は次のとおりです。

①クーリングシステム事業

クーリングシステム製品「San Ace」は、通信機器や医療機器、デジタルサイネージ向けの需要は堅調でした。一方、データセンター向けや、中国景気減速にともなうオートメーション向けの需要は減少しました。

その結果、売上収益は5,247百万円(前年同期比16.5%減)、受注高5,285百万円(前年同期比16.5%減)、受注残高4,124百万円(前年同期比1.0%増)となりました。

②パワーシステム事業

パワーシステム製品「SANUPS」は、太陽光発電関連や通信機向けの需要が低迷しました。一方、防災施設などの公共設備向けの需要は増加しました。また、工場設備や病院設備向けの需要も堅調に推移しました。

その結果、売上収益は1,430百万円(前年同期比9.6%増)、受注高1,845百万円(前年同期比2.4%増)、受注残高2,246百万円(前年同期比2.9%減)となりました。

③サーボシステム事業

サーボシステム製品「SANMOTION」は、中国経済の急減速を背景に、工作機械・ロボット・半導体製造装置などの業界において需要が大きく減少しました。一方、射出成形機向けの需要は堅調に推移しました。

その結果、売上収益は8,506百万円(前年同期比37.0%減)、受注高7,234百万円(前年同期比42.5%減)、受注残高6,765百万円(前年同期比52.6%減)となりました。

④電気機器販売事業

産業用電気機器、制御機器および電気材料の販売は、医療関連向けの需要を中心に堅調に推移しました。一方、半導体関連の需要は依然として低調でした。

また、太陽光発電関連の国内での需要は減少しましたが、海外での案件は蓄電システム向けの需要とともに増加しました。

鉄鋼関連事業は、老朽化した生産設備の更新および補修工事の受注増により堅調に推移しました。

その結果、売上収益は1,463百万円(前年同期比53.2%増)、受注高1,585百万円(前年同期比46.3%増)、受注残高994百万円(前年同期比21.4%増)となりました。

⑤電気工事業

製鉄所構内の電気工事は、老朽化した電気設備の更新および補修工事を計画どおりに受注し、堅調に推移しました。一方、大型の太陽光発電設備関連工事の需要は、発注遅延のため低迷しました。

その結果、売上収益は406百万円(前年同期比21.8%増)、受注高455百万円(前年同期比13.3%増)、受注残高825百万円(前年同期比5.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して、資産合計は320百万円の減少、負債合計は1,304百万円の増加、資本合計は1,624百万円の減少となりました。

資産の主な変動要因は、営業債権及びその他の債権の減少3,099百万円、IFRS第16号「リース」の適用による使用权資産の増加2,664百万円によるものです。

負債の主な変動要因は、営業債務及びその他の債務の減少2,291百万円、IFRS第16号「リース」の適用によるリース負債(非流動負債)の増加1,805百万円、借入金(非流動負債)の増加1,582百万円によるものです。

資本の主な変動要因は、その他の資本の構成要素の減少818百万円、利益剰余金の減少804百万円によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、12,385百万円となり、前連結会計年度末より692百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期の営業活動による資金の増加は、2,039百万円(前年同期間は738百万円の増加)となりました。これは主に、営業債権及びその他の債権の減少額3,508百万円、営業債務及びその他の債務の減少額1,582百万円、減価償却費及び償却費1,251百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期の投資活動による資金の減少は、1,867百万円(前年同期間は2,520百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,517百万円、無形資産の取得による支出536百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期の財務活動による資金の増加は、792百万円(前年同期間は1,615百万円の増加)となりました。これは主に、長期借入による収入2,000百万円、配当金の支払額667百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年7月25日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	注記	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		11,693	12,385
営業債権及びその他の債権		27,354	24,254
その他の金融資産		771	797
棚卸資産		22,493	22,772
その他の流動資産		1,282	884
流動資産合計		63,595	61,095
非流動資産			
有形固定資産		26,084	26,168
無形資産		4,624	4,834
使用権資産		—	2,664
投資不動産		1,503	1,503
その他の金融資産		9,413	8,956
繰延税金資産		682	676
その他の非流動資産		399	83
非流動資産合計		42,708	44,888
資産合計		106,304	105,983
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務及びその他の債務		16,228	13,937
借入金		9,097	9,070
リース負債		—	703
その他の金融負債		200	252
未払法人所得税等		357	73
その他の流動負債		2,106	2,016
流動負債合計		27,991	26,054
非流動負債			
借入金		5,899	7,481
リース負債		—	1,805
その他の金融負債		45	8
退職給付に係る負債		7,338	7,251
繰延税金負債		0	0
その他の非流動負債		195	173
非流動負債合計		13,480	16,721
負債合計		41,471	42,776

(単位：百万円)

	注記	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資本			
資本金		9,926	9,926
資本剰余金		11,460	11,460
利益剰余金		44,768	43,963
自己株式		△2,410	△2,411
その他の資本の構成要素		1,078	259
親会社の所有者に帰属する持分合計		64,824	63,200
非支配持分		7	7
資本合計		64,832	63,207
負債及び資本合計		106,304	105,983

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上収益		22,382	17,052
売上原価		16,251	13,578
売上総利益		6,130	3,474
販売費及び一般管理費		3,603	3,462
その他の収益		78	30
その他の費用		2	2
営業利益		2,602	40
金融収益		338	117
金融費用		22	188
税引前四半期利益又は損失(△)		2,918	△30
法人所得税費用		757	138
四半期利益又は損失(△)		2,161	△168
四半期利益又は損失(△)の帰属			
親会社の所有者		2,161	△169
非支配持分		0	0
四半期利益又は損失(△)		2,161	△168
1株当たり四半期利益又は損失(△) 基本的1株当たり四半期利益又は損失 (△)(円)		178.55	△13.97

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期利益又は損失(△)		2,161	△168
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産		△311	△242
確定給付制度の再測定		167	△0
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額		306	△545
その他の包括利益合計		162	△788
四半期包括利益		2,324	△957
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		2,324	△957
非支配持分		0	0
四半期包括利益		2,324	△957

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	注記	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定
2018年4月1日残高		9,926	11,460	41,361	△2,406	3,320	—
四半期利益又は損失(△)		—	—	2,161	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	△311	167
四半期包括利益		—	—	2,161	—	△311	167
自己株式の取得		—	—	—	△2	—	—
剰余金の配当		—	—	△665	—	—	—
利益剰余金へ振替		—	—	166	—	0	△167
所有者との取引額等合計		—	—	△498	△2	0	△167
2018年6月30日残高		9,926	11,460	43,024	△2,408	3,010	—

	注記	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
		在外営業活動体の換算差額	合計			
2018年4月1日残高		△1,536	1,784	62,127	7	62,135
四半期利益又は損失(△)		—	—	2,161	0	2,161
その他の包括利益		307	163	163	△0	162
四半期包括利益		307	163	2,324	0	2,324
自己株式の取得		—	—	△2	—	△2
剰余金の配当		—	—	△665	△0	△665
利益剰余金へ振替		—	△166	—	—	—
所有者との取引額等合計		—	△166	△667	△0	△667
2018年6月30日残高		△1,229	1,780	63,784	7	63,791

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	注記	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定
2019年4月1日残高		9,926	11,460	44,768	△2,410	2,363	—
四半期利益又は損失(△)		—	—	△169	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	△242	△0
四半期包括利益		—	—	△169	—	△242	△0
自己株式の取得		—	—	—	△0	—	—
剰余金の配当		—	—	△665	—	—	—
利益剰余金へ振替		—	—	29	—	△30	0
所有者との取引額等合計		—	—	△635	△0	△30	0
2019年6月30日残高		9,926	11,460	43,963	△2,411	2,090	—

	注記	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
		在外営業活動体の換算差額	合計			
2019年4月1日残高		△1,285	1,078	64,824	7	64,832
四半期利益又は損失(△)		—	—	△169	0	△168
四半期包括利益		△545	△788	△788	△0	△788
四半期包括利益		△545	△788	△957	0	△957
自己株式の取得		—	—	△0	—	△0
剰余金の配当		—	—	△665	△0	△666
利益剰余金へ振替		—	△29	—	—	—
所有者との取引額等合計		—	△29	△666	△0	△666
2019年6月30日残高		△1,830	259	63,200	7	63,207

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期利益又は損失(△)		2,918	△30
減価償却費及び償却費		931	1,251
受取利息及び受取配当金		△117	△117
支払利息		21	37
営業債権及びその他の債権 の増減額(△は増加)		1,286	3,508
棚卸資産の増減額(△は増加)		△1,682	△509
営業債務及びその他の債務 の増減額(△は減少)		△826	△1,582
その他		△415	△63
小計		2,116	2,494
利息の受取額		11	12
配当金の受取額		104	105
利息の支払額		△25	△37
法人所得税等の支払額		△1,469	△535
営業活動によるキャッシュ・フロー		738	2,039
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出		△1,603	△1,517
無形資産の取得による支出		△771	△536
有形固定資産及び無形資産 の売却による収入		1	0
その他の金融資産の売却による収入		—	81
その他		△147	105
投資活動によるキャッシュ・フロー		△2,520	△1,867
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(△は減少)		2,396	△200
長期借入による収入		—	2,000
長期借入金の返済による支出		△86	△193
自己株式の取得による支出		△2	△0
配当金の支払額		△666	△667
その他		△25	△145
財務活動によるキャッシュ・フロー		1,615	792
現金及び現金同等物に係る換算差額		49	△271
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△116	692
現金及び現金同等物の期首残高		13,182	11,693
現金及び現金同等物の四半期末残高		13,065	12,385

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループは、当第1四半期連結会計期間より、IFRS第16号「リース」(以下、「IFRS第16号」という。)を適用しています。これにより、借手は原則としてすべてのリースについて、その資産の使用権である使用権資産と支払に伴う債務であるリース債務を連結財政状態計算書に計上しています。

当社グループは、当該基準の適用にあたって、経過措置として認められている累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

この結果、IFRS第16号適用時に資産及び負債がそれぞれ2,627百万円増加しています。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、税引前四半期損失、および四半期損失に与える影響は軽微です。

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、IFRS第16号を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討をおこなう対象となっているものです。

当社グループは、主に冷却ファン、電源機器、サーボモータを生産、販売しており、地域性を重視した戦略を立案し、グローバルに事業を展開しています。

報告セグメントは、事業展開する経済圏等の地域特性から、日本、北米、ヨーロッパ、東アジア、東南アジアの5つを報告セグメントとしています。なお、当該報告セグメントの決定に当たって、事業セグメントの集約はおこなっていません。

2 報告セグメントに関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注2)	連結
	日本	北米	ヨーロ ッ パ	東ア ジ ア	東南 ア ジ ア	計			
売上収益									
外部顧客への 売上収益	15,305	2,759	1,339	2,669	308	22,382	—	22,382	
セグメント間の 内部売上収益または 振替高(注1)	7,302	8	10	983	5,872	14,176	△14,176	—	
計	22,608	2,767	1,349	3,653	6,180	36,558	△14,176	22,382	
セグメント利益	1,850	189	106	255	287	2,688	△85	2,602	
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	338	
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	22	
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	2,918	

(注) 1. セグメント間の内部取引価格は一般的な市場価格に基づいています。

2. セグメント利益の調整額△85百万円は、セグメント間取引消去です。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注2)	連結
	日本	北米	ヨーロ ッパ	東アジア	東南 アジア	計			
売上収益									
外部顧客への 売上収益	12,065	1,840	1,241	1,674	230	17,052	—	17,052	
セグメント間の 内部売上収益または 振替高(注1)	5,400	16	2	517	4,560	10,495	△10,495	—	
計	17,466	1,856	1,243	2,192	4,790	27,548	△10,495	17,052	
セグメント利益または 損失(△)	△387	△39	88	38	92	△207	247	40	
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	117	
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	188	
税引前四半期損失(△)	—	—	—	—	—	—	—	△30	

(注) 1. セグメント間の内部取引価格は一般的な市場価格に基づいています。

2. セグメント利益の調整額247百万円は、セグメント間取引消去です。